資料３－１

働く世代（～４０代）へのアプローチ　～令和５年度実績・進捗～

【目標１】

➢ 職域団体、各町、医療機関、関係団体、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、働く世代（～４０代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）に向けた取組の推進を図る。

【ステップ３（令和５年度）】

実　績　・　進　捗
１　南檜山地域・職域連携推進連絡会.
（１）第１回連絡会（７月１１日）
①『南檜山地域で働く人とご家族のための検診ガイド』の活用状況や改善点の評価
～令和４年度に作成し、各構成団体に配付した健診ガイドの活用状況について共有し、今後の普及啓発の推進に向けた意見を伺った。健診ガイドの活用状況を評価するため、構成団体に対してアンケートを実施することとし、新媒体の必要性等についても併せて伺う。
② 健康教育（高血圧、減塩、メンタル…）の実績増に向けて
～対象者に直接働きかける方法として、健康教育等によるアウトリーチの実績を増やしたいと考える。各町の対応スタンスや職域側のニーズを共有し、実績増に向けた意見を伺った。今後、各町での対応実績を本会議において随時確認していくこととし、構成団体からも各事業所に対して健康教育の実施（役場への相談）を促してもらう。
③ 新たな職能団体の参画について
～現場の意見を把握し、具体的な活動に反映するため、新たな業種や団体の参画も必要に応じて検討するため、意見を伺った。漁協や商工会、食生活改善協議会、振興局職員厚生担当、協会けんぽ・国保連などがあげられた。
（２）健診ガイド活用状況アンケートの実施（９月）
・健診ガイド活用状況及び今後の取り組みに向けた評価のため、構成団体へ調査を行った。
内容➡各町別にコンパクトにまとめられ、とても見やすいものである。 年度ごとに記載変更の内容があるので、年に１回は更新が必要。
活用状況➡配布したが感想を聞くことができていない。はっきりとした効果はなかったように思う。 設置したがほとんど減っていない。設置場所の検討が必要。 手に取り見ていたが効果は不明。 部数が少なかった、あるいは内容変更があり配布できず未活用。
（２）第２回連絡会（１１月７日）
① 健診（検診）の普及啓発について
～『健診ガイド』の活用状況について、上記アンケート結果をもとに事務局より報告。
② 健康教育（高血圧、減塩、メンタル…）の実施増に向けて
～各団体で、健康教育などを実施したり、健康づくり関連のイベント等において健診勧奨の取り組みができた団体は少なかった。
③ 今後の方向性
～職域保健の対象者は様々な実態を有しているため、すべての対象者に手が届く方策は打ち出せない。連絡会で決めたことを各団体で推進するより、各団体がまずはできるところから取り組むことが実態に即した具体的な方策であり、効果的であると考える。自分たちの業務実態に合った対策を主体的に考え、取り組んでいく。

２　今後の予定

（１）第３回連絡会の開催（１～２月）

～自組織の取り組みを発表する場を設けることで、各団体の主体性を高めて、職域対策の動きを活性化していく。